すべてが成り立たなくなり市は衰退

なるばかりではなく商業、

産業など

年層の転出が多く、高齢化率は上昇。

市民は市の財産であるが

特に若

用者のご意見については担当も把握 月平均1000人程度の増です。

このままでは農業の後継者がいなく

きたい

して

いますので、

改善に努力してい

5448人、1・9%の減少である。

30年11月1日は1万9384 9年の人口は2万4832人。 平成

万1269人で、

旧施設と比較して

用者証」の利用は開業から今まで1 屋だけの機能で、「温泉保養宿泊利

購入されています。

図信 市長にはじめてなられ

た平成

用があり、

1組は移住のため住宅を

宅を整備し11月までに3組4名の利

えるか。

答弁 議員が言われるとおりです

「彩り」は高齢者が利用する部

用者が少なすぎる。 分の1である。

原因は何だと考

答弁] 今年度から多久市移住体験住

年の

人口減少は緩やかになっており

宅団地や民間の宅地開発が行われた

□推移を見比べると市営住

団地の造成計画はあるか。歯止め効果があると考えるが、

住宅団地の造成については

人口減少対策について

**ついて** 多久市の現状とこれからに

う必要があると考えています。

交流スペース「彩り」について

活用など総合的に勘案して検討を行

所では民間とのバランスや空家の利

部内で検討中です。その他の場

あるか。

策について新たに始められたことは

が、

現在の「彩り」の利用者は約5

大金をかけたのに利

人くらいの利用者があった

昨年9月定例会以降、

人口対

0

國信 旧むつみ荘時代は年間1万5

或

ついては、

候補地の地質調査を参考 第2期の住宅団地計画に

ています。

人口対策に一定の効果があると思っ

います 題の解決を図る」システムになって おり、「一CTを使って、 民に情報発信が出来る機能も備えて とが出来るというものです。また、し、早急に危険箇所の改修を行うこ 同時に解決に至る過程を段階的に市 多久市でも、 システ ムアプリや 協働で問

です

報交換ができる体制づくりを検討す べきではないかと感じました。 SNSを利用し、 迅速な情

## ②奈良県奈良市 「奈良市ポイント制

健康・ボランティア・健康増進、この制度は、一〇カードに、原度」について 些、 長 健 寿



閉会中審査報告

ました。 が報告され、関係機関より今後の農した。農林課から農林業の振興政策 業経営維持に向けて次の要請があり 振興に係る意見交換会」 を実施しま

②多久カントリー施設等の更新につ (1)農業用廃プラスチック回収料金改

②果樹生産の維持・振興について①土地利用型農業の振興について 展に向けて」 ③燃油価格高騰対策について いて意見交換を行いました。 また、 中 をテー

物や特産品との交換、タクシー券・トをためることで、加盟店での買い康スポーツ・多子世帯支援のポイン ージ券と交換ができる制度

バスチャ

総括として、多久市の状況に即し③多久市の農業振興について

のみで、健康づくり・地域活動等に定健診の受診及び結果説明への出席多久市のポイント付与対象は、特 もポイント付与の対象を拡大し、健のみで、健康づくり・地域活動等に 取り組みとして提案していきたいで 康と地域協働のまちづくりに役立つ



「市の主幹産業である農業につい 関係機関と「多久地区の農業

と 山間地域農業の維持発 マに3項目につ

①多久カントリ 出されました。 確認しま 後も意見交換を継続して行うことを たビジョン、 とや市農業の維持・発展のために今 、委員会では次のような意見等が意見交換会で出された意見につい 計画を策定していくこ

②農業振興について、 していく必要がある。いて、精査し補助がで 精査し補助ができるか検討 施設等の要請につ

③議会としては、 ら、非農家の方にも理解をいただ機能の維持や国土保全の観点か生活できることが基本で、多面的②農業振興について、農業に従事し て行い、 き、 を計画、実施していく必要がある。 市の特色や状況に合う振興策 バックアップを行う。 意見交換を継続し



議案番号

議案甲第29号 財産の取得について

議決結果

議

12 月 定 例 会

案

議案甲第28号 多久市定住促進条例の一部を改正する条例に対する修正案

議案乙第42号 平成30年度多久市一般会計補正予算(第5号)に対する修正案

賛否表

飯

守

康

洋

## 市の活性化策について多久ICを拠点とする多久

飯守 多久一〇の概要及び利用状況

なところです。 県内の各地へ移動する、 答弁 昭和62年3月に開設をされ 交通の便利

台です。 94万6700台、 Cから高速道路への流入車両台数 利用状況は、平成29年度の実績で、 00台で合計192万7800 流出車両台数%万

度と比較すると年間で8万9400 合計は183万8400台で、 飯守 また、平成24年度の しています 1年間の実績 29 年

接続する国道203号線の概要と今 として指定を受けた多久 地域高規格道路「佐賀唐津道 1 | |-

合計16・6 Mが供用開始。 6 M、東多久バイパスの6・7 M、6・3 M、厳木多久有料道路で3・長約40 Mのうち、厳ォノ 整備を進めており、 地域高規格道路の 現在、 指定を受 パスで

> が採択をされ、 は佐賀市鍋島町から嘉瀬町の約4 備区間の指定を受け、平成28年度に 久町から小城市三日月町の間の約5 れています。 び佐賀県において事業の進捗が図 いては、平成15年9月に多久市東多 畑、多久佐賀道路(I期)として整 なお、 多久— 現在、国土交通省及 佐賀間の約15㎞に kmつ

されています。 時などの緊急的な資材置き場に使用 が所有しフェンスで区切られ、 答弁 多久ICに必要な用地が 取り 多久−○周辺の整備の現状は。 現在は西日本高速道路株式会社 災害 あ

開通に伴 全の確保のため、 れますので、 ありませんが今後、 また、 っていきます ICの立体化計画の予定は 利便性の向上と交通安 交通量の増加が見込ま 関係機関に要望を 多久一 -佐賀間  $\mathcal{O}$ 



※議案等について、賛成、反対の双方あった場合のみ、掲載しています。

○は賛成

●は反対 欠は欠席

議決結果

修正案可決

原案可決

修正案可決

退は退席

平成31年2月(第39号) 多久市議会だより